

生涯学習事業

(計画書・報告書)の書き方

1

- 市民センターは最も身近なところで学べる場
- 市民センターは学習と実践を通してみんなの地域をつくっていくところ



- 課題解決はすぐにできなくても少しずつ解消に向かうプロセスを大切に
- 受講者の 気づき やりたいに丁寧に向き合う

2

企画意図の明確化

どんな講座をしたいと思っていますか？

なぜ、その講座をするのでしょうか？

企画の意図が見える計画書になっていますか？

3

計画書・報告書の役割

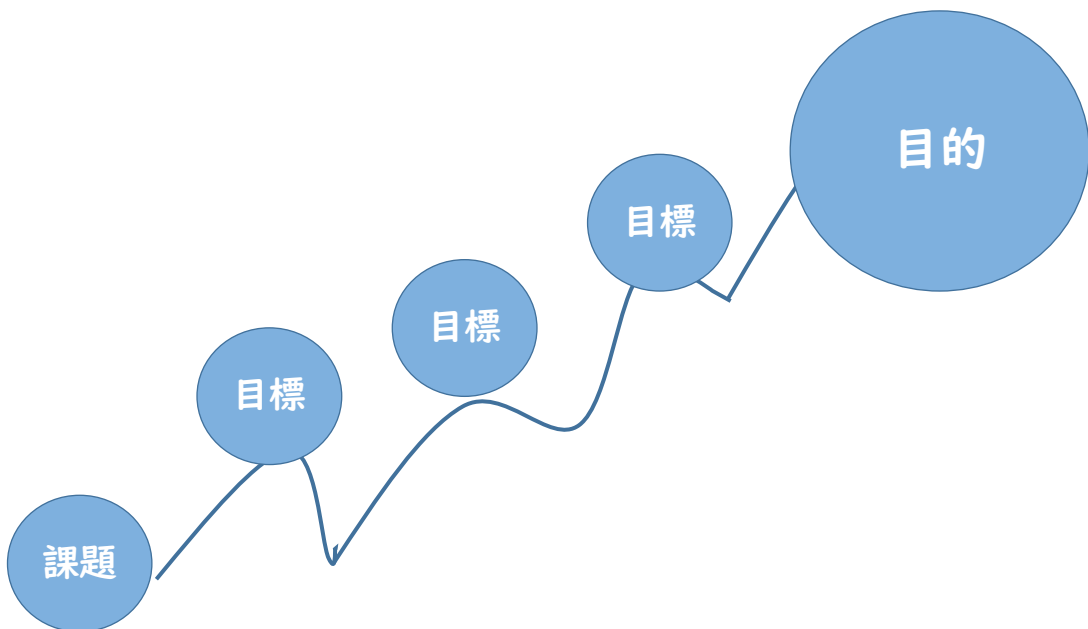
- 「思い」を整理して書く⇒「見える化」
- 目的や目標を共有する
- 振り返って評価する
- 次のステップを考える

4

背景・課題 ⇒ 目的 ⇒ 目標

- 背景・課題…地域や社会の現状、解決したいこと
- ビジョン・目的…受講生・地域・社会の変化、将来像
- 今年度の目標…目的に向かってどこまで到達するか

5



6

背景・課題

センター
の課題で
はない！

- ・なぜその講座をやりたいと思ったのか？
何を変えたいと思ったのか？
- ・対象となる人を具体的に思い浮かべる
その人の持つ背景や課題を考える(具体的に)
今はどんな状況？(現状)
何が問題なのか
何に気づいてほしいのか

7

背景・課題

- ・受講者や地域を取り巻く状況を書き出してみる
社会的課題、地域の課題、地域の資源…etc
- ・日ごろから気が付いたことを書き留めておく
自分が見聞きしたこと
地域の方から聞いたこと

8

背景・課題

平均寿命と健康寿命の差が大きいのが問題なんだって

家に引きこもりがちな高齢者が多いらしいわよ

どんな運動をしたらいいかわからない人が多いんじゃない

人と接する機会が減るといろいろな問題が起きてくるかも

9

背景・課題 … 書いてみよう

- 箇条書きでOK！
- 今の状況、変わってほしいことetc…全部書き出してみよう
- 書き出したことを整理しよう…取捨選択・並べ替え

10

背景・課題

日本人の平均寿命は延びてきたが、健康寿命との差が大きい。

地域で生き生きと自立した生活を送るためには、日常生活の中で体を動かす機会が必要である。

健康寿命の延伸につながる健康づくりなどの生涯学習に高齢者が参加する機会を増やすことが必要とされている。

11

将来のビジョン・目的

想像してみましょう

「こんな風になったらいいな」

受講者の将来像

社会・地域の将来像

センター
の目的で
はない！

12

将来のビジョン・目的

健康寿命が延
びる

高齢者が地域
で生き生きと
活動している

いつまでも自
立した生活が
できる

孤立せずにみんな
で生き生きと学ぶ人
が多い地域になる

13

将来のビジョン目的…書いてみよう

箇条書きでOK！ 目指すところを明確に！

14

今年度の目標

目的の向けて今回到達したいこと

センターや
自分の目標
ではない！

受講した人の変化を考える

受講後の気づき

今回は、このことを理解してほしい

受講後の変化

気持ち・行動が少し変わりそう

15

今年度の目標

(受講後の姿や行動 思い浮かべてみましょう)

市民センターや地
域の行事に積極的
に参加しよう

フレイル予防のため
に、講座で教えても
らった体操を毎日
やってみよう！

一緒に講座を受
けた人とお友達
になった

16

今年度の目標…書いてみよう

箇条書きでOK！ 目的に向かってどこまで到達したいか

17

学習目標に関する評価及び課題 や次年度への展望

目標に対して客観的に評価する
学習内容の理解度
目標ごとの達成度
新たに浮かび上がった課題も
次年度に向けて
このまま続ける？修正は？
アンケートの活用も

18

学習目標に関する評価及び課題 や次年度への展望

運動を続けること
の大切さは理解し
てもらえたようだ

受講者同志の距離
が短くなった

他の講座も申し込
んでくれた

もっと講座を
続けてほしいと
言われた

健康づくり事業の
ウォーキングに参加
する人が増えた

19

評価及び課題や次年度への展望…書いてみよう

目標をどこまで達成できたか(客観的に評価)

・学習内容の理解度 ・意識や行動の変化

20

計画書・報告書の役割

- 「思い」を整理して書く⇒「見える化」
- 目的や目標を共有する
- 振り返って評価する
- 次のステップを考える

21

- 市民センターは最も身近なところで学べる場
- 市民センターは学習と実践を通してみんなの地域を作っていくところ



- 課題解決はすぐにできなくても少しずつ解消に向かうプロセスを大切に
- 受講者の 気づき やりたいに丁寧に向き合う

22